



作業を終えて記念撮影

農業

企業との連携

農福連携



R7年度 種まきの様子



R7年度 綿花の様子

概要

- ◆ 綿花の栽培・コットン製品の企画販売を手掛ける「かこっとん株式会社」と工賃の安定増収を図る就農継続支援B型事業所「アンソレイエ・レーヴ」による農福連携を令和3年4月に開始。
- ◆ 綿花は栽培しやすく収穫量も安定しており、最重要課題である販売先が決まっている点も大きなメリット。
- ◆ 「環境保全」「地場産業の復活」「伝統文化の継承」「地域貢献」となるこの取組に地元マスメディアも注目。

成果

- ◆ 障害者は「支えられる立場」と認識されがちだが、この取組に参加しモノづくりの根幹に携わることにより、支える立場となっている。
- ◆ 綿花を通して、農業・商業・地域社会・福祉に携わる人たちが協力し合い、それぞれのコミュニティの強みを活かしている。
- ◆ 綿花の作付面積(R7は見込み)
 $1,000\text{m}^2(\text{R}3) \rightarrow 2,000\text{m}^2(\text{R}7)$